# 目　次

はしがき
略語表

## 第Ⅰ部　経済安全保障の基礎と概念史

第1章　「経済安全保障」とは……土屋貴裕…3
——国家の生存と繁栄を守る新たな戦略

**1**　経済安全保障の定義と概念　3
経済的利益と安全保障の関係　戦略的不可欠性と戦略的自律性　バズワード化する経済安全保障　多様な安全保障領域との重なり

**2**　経済安全保障の重要性と目標　6
経済安全保障が注目を集める背景　エコノミック・ステイトクラフト「ゲームチェンジャー」技術の台頭　政治体制によるアプローチの違い

**3**　経済安全保障上の脅威とリスク　8
貿易紛争や経済制裁のリスク　サイバー攻撃と情報漏洩リスク　重要資源・技術の流出リスク

**4**　経済の脅威の種類とその影響　10
自然災害・パンデミックによるサプライチェーン寸断　経済制裁と貿易摩擦の波及　金融危機と市場不安定性　インフラ攻撃と機能不全　重要技術の流出と戦略的優位の喪失

**5**　リスク管理と予防策の重要性　12
経済構造の多様化と耐性強化　サプライチェーンの冗長性と回復力　情報セキュリティとクリアランス制度　国際協力と枠組みの整備

**6**　国際的競争力を維持するための経済安全保障戦略　14
透明性の確保と市場の信頼醸成　協力と競争のバランスと戦略的自律性の段階的確保　研究開発投資と民間資金の活用　経済安全保障と成長戦略の統合

第２章　経済安全保障とその概念の変遷……松村博行…17
――「供給効果」と「影響力効果」に注目して

**1**　経済安全保障を読み解く２つの視点――供給効果と影響力効果　17
供給効果と影響力効果　供給効果の展開――安全保障外部性　影響力効果の展開――非対称的な相互依存および相互依存の武器化

**2**　冷戦期における経済安全保障　20
――戦略物資の管理を中心とする供給効果
自由貿易と COCOM　経済安全保障概念の登場　日米経済摩擦　外資規制の本格化

**3**　ポスト冷戦期における経済安全保障　23
――相互依存が生む影響力への懸念
クリントン政権と経済安全保障　加速するグローバル化

**4**　大国間競争の時代――影響力効果が前景化した米中対立　25
台頭する中国のパワーへの対抗　経済安全保障推進法の制定

## 第Ⅱ部　経済活動の安全保障化と制度的対応

第３章　相互依存の武器化とサプライチェーン再編……松村博行 三浦秀之…31
――米中対立下の貿易システム

**1**　理論的視座　31
貿易をめぐる絶対的利益と相対的利益　経済的相互依存が高まる中でのエコノミック・ステイトクラフト　米国の覇権と恐怖に基づく国家の相互依存の武器化の決定要因

**2**　貿易自由化の進展と絶対的利益に基づく経済的相互依存の高まり　34
中国経済の世界経済への統合　コストと生産効率を重視するサプライチェーンの構築

**3**　相互依存の武器化と相対的利益に基づくサプライチェーン再構築　36
米国の中国不信と米中貿易戦争　米国における貿易規制措置の強化　中国の経済的台頭と経済的威圧　中国の経済的威圧に対する対応

**4**　サプライチェーン強靭化に向けた日米欧の取り組み　40

**5**　日本企業のフレンドショアリング・リショアリング戦略とその課題　41

第 4 章　金融機能と政策的対応……真鍋雅史…47
——安全保障リスクとリアリズム

**1**　経済活動と金融　48
取引と決済　金融と信用　企業活動と金融

**2**　規制と金融　52
業法　参入規制，行為規制，資本規制　規制の副作用

**3**　金融と経済安全保障　56
国際的な資金の移動　国際的な決済とその制限　資産と制裁

第 5 章　投資がもたらす脅威……齊藤孝祐…61
——強化される規制とその反作用

**1**　米国の投資規制をめぐる展開　61
CFIUS の設置　日米貿易摩擦と投資規制の強化　実効性への疑義

**2**　米中対立の激化と対内投資規制　65
米中対立下の対内投資規制　クアルコム買収問題　規制の強化か，制度の濫用か

**3**　対外投資規制の強化　67
米国の対外投資規制　非米圏から懸念国への投資は規制できるか

**4**　日本における政策的展開　69
外為法を通じた規制強化　土地買収への対応

第 6 章　高度人材の国際移動と技術管理……手塚沙織…73
——技術覇権を左右する人の国際移動とは

**1**　人の国際移動と技術覇権　73
越境と個人の属性——どの国出身か，どこに所属し，何をしているのか
人の国際移動から見る技術覇権

**2**　技術覇権における高度人材の国際移動　75

中国出身の高度人材の事例　中国サイドから中国出身の高度人材の評価　米中間で乖離する評価

**3** 高度人材の獲得合戦――頭脳流出，頭脳循環，逆頭脳流出　76

高度人材に対する受入れ・引き戻し政策の世界的増加　中国の高度人材に対する受入れ・引き戻し政策　「頭脳流出」の恩恵国としての米国　「頭脳流出」から「逆頭脳流出」へ

**4** 技術覇権をめぐる人材戦略の攻防　79
――中国の軍民融合と技術の担い手のグローバル化

高度人材の移動を介した技術移転　技術開発の担い手はどの国に属するか　AI 分野の担い手の「所在」は

**5** 高度人材の渡航制約――技術移転の防止　81

高度人材に対する渡航制約の拡散――米中の技術覇権争いの中で　高度人材の渡航制約の歴史――米英の技術覇権争いの中で

第 7 章　産業政策の史的展開……相良祥之…86
――重商主義，半導体，ミッション志向

**1** 産業政策の概念と史的展開　86

産業政策とは何か　日本の産業政策をめぐる議論　中国の産業政策　世界金融危機・米国の保護主義・コロナ危機

**2** 半導体の産業政策　91

米国の半導体政策――輸出管理と産業政策の交錯　日本の半導体政策――産業政策と経済安全保障の統合

**3** 新たな産業政策　97

ミッション志向　VC 的な産業政策と「敗者の退場」　政・官・財・学の「戦略的連携性（strategic alignment）」

## 第Ⅲ部　広がる経済安全保障領域

第 8 章　食料安全保障の概念の変遷と日本における課題…三浦秀之…105
――脆弱性の顕在化と政策体系の再編

**1**　経済安全保障と食料安全保障のリンケージ　105

経済安全保障としての食料の戦略的意味　日本の食料安全保障政策の特徴

**2**　食料安全保障の概念の形成と歴史的背景　106

供給側の視点を重視する初期の食料安全保障をめぐる定義　食料安全保障の定義における需要側視点

**3**　日本における食料安全保障　109

戦後日本の食料安全保障をめぐる経緯　世界食料危機の日本への影響　食料・農業・農村基本法の成立とその具現化

**4**　新型コロナ感染症拡大とロシアのウクライナ侵攻によるリスク増大　112

国際社会への影響　日本への影響

**第9章　エネルギー・資源と安全保障**……土屋貴裕…118

——安定供給の確保と脱炭素社会への転換

**1**　エネルギー・資源と経済安全保障の関係　118

エネルギー・資源の戦略的重要性　エネルギー・資源の安定供給を脅かす要因　エネルギー・資源の戦略的不可欠性と戦略的自律性

**2**　エネルギー・資源の脆弱性　120

供給地の地理的偏在と地政学リスク　輸送インフラの脆弱性とチョークポイント　資源の枯渇と環境問題

**3**　エネルギー政策と安全保障の関係　122

ロシアのウクライナ侵攻と欧州の政策転換　日本における供給源多角化の課題　エコノミック・ステイトクラフトとエネルギー・資源

**4**　エネルギー・資源をめぐる日本の安全保障上の課題と対策　125

再生可能エネルギー導入と地理的制約　技術革新と新型太陽電池の展望　エネルギーミックスと原子力の再評価　省エネ技術と備蓄体制の強化　国際協力と多元的輸入先の確保

**5**　エネルギー・資源の安全保障と未来社会　128

持続可能性と技術革新の役割　エネルギー貯蔵技術とスマートグリッド　国際的枠組みと次世代エネルギー外交　水素社会とカーボンニュートラ

ル戦略

第10章　サイバー安全保障の確保に向けて……長迫智子…132
——高度化・複雑化するサイバー攻撃と進化するサイバー法制度

1　サイバーセキュリティと経済安全保障　132
経済安全保障からみたサイバーセキュリティの重要性　サイバー安全保障のための重要インフラ防護の強化

2　サイバーセキュリティをめぐる最新情勢　134
地政学的リスクによるサイバー攻撃の増大　情報操作型サイバー攻撃の登場　サイバー攻撃の複合化と進化

3　国家が関与するサイバー攻撃の脅威　139
サイバー攻撃の類型　各国の国家支援型サイバー攻撃

4　日本のサイバー安全保障体制と法制度　143
日本のサイバーセキュリティ推進体制　能動的サイバー防御

第11章　安全保障化する学術研究……齊藤孝祐…151
——研究セキュリティをめぐる諸課題

1　概　念　151
研究インテグリティ／研究セキュリティとは何か　安全保障問題としての学術研究保護

2　科学研究をめぐる問題の構造変化とリスク　153
懸念国との関係　科学研究の構造変化

3　米国における具体的な問題の顕在化　155
外国から流入する資金の管理　トップダウンの対策と反作用

4　国際化する研究セキュリティ問題と日本の対応　158
G7における問題提起　日本における研究インテグリティの再検討　取り組みの加速と課題

## 第Ⅳ部　リスクガバナンスの変容と企業・国家・国際社会

第12章　地経学の時代の企業経営……相良祥之…167
——リスクを制御し不確実性に備える

**1**　企業と国家　167
企業は経済安全保障の主役　地経学とは　2010年レアアース危機をめぐる日本企業の対応

**2**　経済安全保障上の脅威——地経学リスクと不確実性　171
リスクと不確実性　「政経融合」と「軍民融合」　サプライチェーンの途絶　投資・買収による技術流出　中国における産業の誘致・自前化・排除　高性能磁石の教訓

**3**　地経学リスクを制御し不確実性に備える　177
企業に求められるリスク制御と不確実性への備え　国際情勢分析とリスク制御の体制整備　レピュテーション・マネジメント

第13章　産業と技術の安全保障貿易管理……小野純子…180
——新たな“輸出管理”の時代へ

**1**　国家安全保障戦略からみる「輸出管理」　180

**2**　「輸出管理」と企業・大学——貨物や技術のデュアルユース性　182

**3**　国際協調と輸出管理　185

**4**　過渡期にある輸出管理　186
経済安全保障という視点　脅威の変化　兵器の変化　戦争の変化　技術とサプライチェーンの変化

**5**　経済安全保障時代の輸出管理と日本の産業　191

第14章　経済安全保障をめぐる国際的な協力と連携……三浦秀之…193
——経済的威圧に対抗する国際連携の新展開

**1**　経済安全保障をめぐる同盟国と同志国による協力と連携　193
古くて新しい経済安全保障をめぐる国際的な協力と連携　近年の経済安

全保障をめぐる国際的な協力と連携の考察

**2** 経済安全保障をめぐる国際協力と連携形態の分類　196

⑴サプライチェーンの強靭性をめぐる国際的な協力と連携　⑵経済制裁をめぐる国際的な協力と連携　⑶経済制裁や経済的威圧への対抗措置をめぐる国際的な協力と連携　⑷輸出管理をめぐる国際的な協力と連携　⑸投資規制をめぐる国際的な協力と連携　⑹重要インフラの保護をめぐる国際的な協力と連携　⑺国境を越えるデータの扱いをめぐる連携　⑻産業政策をめぐる国際的な協力と連携　⑼ルール形成をめぐる国際的な協力と連携

**3** 日本が関わる経済安全保障をめぐる国際的な協力と連携　202

主要国会議（G7）　インド太平洋経済枠組み（IPEF）　日米経済政策協議委員会（日米経済版「２＋２」）　日本の重要鉱物のための協力と連携と鉱物資源安全保障パートナーシップ（MSP）

**第15章　新たな総力戦の時代に**……浅野　亮…207
——基本概念の整理

**1** 基本概念——グレーゾーン，ハイブリッド戦，認知戦　207

グレーゾーン概念の内容と構造　ハイブリッド戦の特徴と理論的位置づけ　認知戦の役割と重要性

**2** ハイブリッド戦のメカニズム　210

グレーゾーン外のハイブリッド戦　クロスドメインとマルチドメインハイブリッド戦の同時進行性——拡張型の「縦深作戦」

**3** 新たな総力戦　213

グレーゾーンの総力戦　新たな総力戦のメカニズム

人名索引　219

事項索引　221